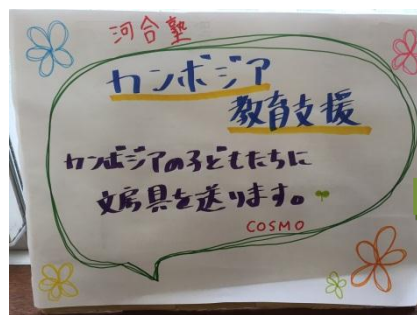


# カンボジア支援物資ご協力お礼と現地到着報告



河合塾グループの校舎・教室の他、学校等で文具を回収いただきました。



2015/12/12 河合塾(名古屋)でお預かりした寄贈物資を確認・種別に梱包



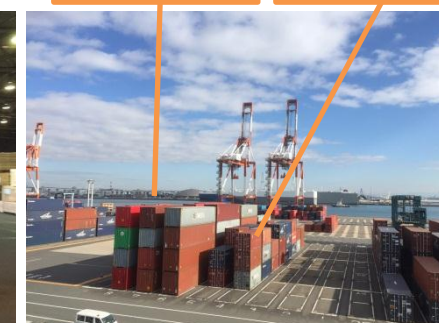
12/18 河合塾から名古屋港に向け搬出



輸送はフジトランス社に協力いただいています。荷物をパレットサイズにコンテナへ積み込みます。コンテナは船が来るまで港で待機



パレットサイズされた荷物



4フィートコンテナ

2フィートコンテナ



船は名古屋港へ 12/28 に入港  
12/29 出港にて徹夜で積み込み



カンボジア王国プレイベン州にある「カンボジアー日本友好学園」へ到着。  
学園代表のコン・ボーン氏が近隣の小学校・中学校・高等学校へ分配してくださいました。



We are director, deputy director, teachers, and students of Cheang Dek middle school would like to express our thankful to Kawai-Juku that always pay attention on students by providing stationeries. We already got your gift via Mr. Kong vorn, board director of CEAF.

We are very delighted to receive your gift, and hope that you will continue helping more.

Finally, we would like to wish all supporters to have good health, happiness, good luck, safety, and long life.

物資を受け取った小学校・中学校・高等学の各校長より「お礼状」が届きました。一例ご紹介します。

今年度もカンボジアへの物資支援にご協力をいただき、誠にありがとうございました。

河合塾グループの校舎・教室をはじめ、全国の小学校・中学校・高等学校などからも多数の物資支援協力をいただき、ダンボール 88 箱、3 パレット分の荷物を贈ることができました。

今回は 12 月末に名古屋港で貨物船に寄贈物資を積載し、シンガポール経由でカンボジアのシアヌークビル港に到着、その後トラック輸送でプレイベン州の「カンボジアー日本友好学園」に運びました。名古屋港で貨物の梱包・積載過程を見学させていただきましたので、その様子を少しレポートします。

コンテナは国際規格で、長さ 2 フィートと 4 フィートの 2 種があります。荷物の積載方法は、コンテナを貸しきる FCL と、他の荷と混載する LCL があり、今回は LCL で輸送しました。名古屋港では韓国・中国・シンガポールをはじめ、インドネシア・タイ・ベトナム・バンコクへ行く船が多かったのが印象的で、海の玄関口から世界の情勢や経済事情が伺えました。港では実に多くの方々の並々ならぬお仕事で成り立っており、1 本のペンを届けるために様々な方の誠意がこもっていると感じます。

1 月末に「カンボジアー日本友好学園」に到着した物資は、学園代表のコン・ボーン氏が近隣の小学校・中学校・高等学校 20 校へ分配してくださいました。

各校長より「お礼状」が届いてきています。紙面の都合上、いただいた「お礼状」の一部を紹介します。